

# 山のトイレ協議会通信

第9号



## 目 次

計画古処山清掃・視察ハイク	2
総会・講演会報告・運営委委員会の動き	3~4
英彦山トイレ状況報告	5
啓蒙活動報告	6~8
北海道「山のトイレを考える会」ニュース	9

山のトイレ、環境を考える福岡協議会

# 参加者募集 欲張り企画

～古処山の現況を知りたい！～

古処山は福岡市から1時間程で登山口まで行け、日帰りできる手頃な山です。山頂一帯には特別天然記念物ツゲの群落がみられ、県内人気の福智山、英彦山、宝満山ほどではないにしても、年間1万人以上の人々が登山をしていると言われています。

数年前まで、秋月側登山口にあったキャンプ場が閉鎖され、ここにあった唯一のトイレも同時に無くなったことにより、同山域の環境汚染が危惧されるどころです。登山者自身による山中へのし尿放出は単に山岳自然の汚染にだけにとどまらず、山麓の集落へこの影響が広がるとすれば、より深刻な問題にもなります。

当会としても、登山マナーの一環として「山に入る前に麓のトイレで用を足しましょう」を提唱し、啓蒙活動を行っています。このようなことから古処山の環境現況を知るために、視察をすることにしました。

出来るだけ多くの方に参加を頂き、その目で見た感想、意見を聞くことで、今後の会活動の指針にしたいと考えています。併せてこの機会を利用して山の清掃 & 親睦会 も行います。親睦会においては忌憚のない意見交換をしたいと思っています。

**多くの方の参加を期待しています！！**

## 実施要領

実施日:10月21日(日)

清掃・視察山域 : 古処山

集合時間 : 8時00分 集合場所 : 天神日銀横(高速基山SA 乗車可)

参加交通費: 2~3,000円(参加人数による)

持参するもの: 日帰り登山装備一式 火ばさみ レジ袋数枚 軍手

帰着時間: 16時頃 西鉄雑餉隈駅解散

親睦会(希望者) 2時間程度 一品香(雑餉隈) 会費:2,500円程度

申込締め切り日: 10月5日(金)

申込先: 太田勝 ☎・FAX 092-593-0348 携帯 090-9607-7556

**一緒に活動してみませんか！**



## 第4回 平成 24 年度定期総会 報告



去る6月16日(土)13:30 昨年と同じ、太宰府館3Fの「まほろばホール」で開催されました。司会を運営委員の松大路秀一氏が担当。

山上会長挨拶では当日講演の函師哲雄氏が60代に入りフランスのジャン、ジオノの「木を植えた男」に触発されて荒れ果てた山の再生に取り組み、今も「豊かな森作り」を仲間と共に続けておられることを紹介され、その姿勢から同じく自然を守る我らの活動につなげて行きたいと述べられた。

議長を福岡県勤労者山岳連盟の平田真介氏にお願いして議事に入りました。活動報告は運営委員長の太田勝氏より議案書の内容に沿って報告され、特に諸般の事情で企画が3回中止されたことが次への課題となったこと。

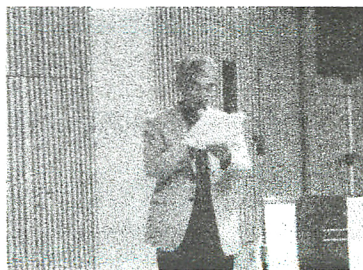
英彦山のトイレ建設活動に当協議会も参画していくということで5月の第一回よりその後第4回の意見交換会を経て、「英彦山の環境・トイレを考える連絡協議会」として発足しており、設置位置が聖

域との兼ね合いで今だ未定、又その後の維持管理が特に問題となっており、この場で皆様のご意見、希望を聞きたいとの提案があったが、特に意見は出なかった。

活動計画も議案書の内容に沿い、特に早急に英彦山のトイレ建設実現を目指すことが確認された。

その他、トイレ通信に会員名簿を載せることで、意識を高め、横のつながりが出来ることで会員を増やすきっかけになるのではとの意見が出され、運営委員会で前向きに検討するとの回答がなされた。

引き続き宝満山キャンプ場のバイオトイレの使用状況について 西鉄山友会会長 豊福利信氏よりマナーが以前より良くなってきていること、日祝日は相変わらず多いが、登山口にトイレが設置されて以降使用回数が減ってきていること等が報告されたが、依然として西鉄山友会による週一回のメンテナンスは欠かせないとの報告で設置後の対応こそが重要であることがあきらかになった。





## 講演会

講演をお願いしていた「ロキシーヒルの会」会長 函師哲雄氏の到着が台風 5号の影響で大幅に遅れ、講演に間に合わないというハプニングがあった。

函師氏の取り組み活動を録画した NHK 制作 40 分の DVD が事前に送られていたので、その上映を行い、その後ロキシーヒルで植樹活動を行った会員の高井さん、籐さんに体験談を話してもらって何とかしのぐことが出来た。

西都市を朝 6 時過ぎのバスに乗車されたが福岡着は 19 時過ぎであった。

懇親会には間に合われたので、活動の

現状など聞くことができた。

昨年、体調を悪くされていたということだったが、お元気であった。

函師氏の活動「山の再生“豊かな森作り”」に共鳴、人柄に共感をおぼえて応援している仲間達がいる限り、函師氏の想い「120歳まで生きる！」は大丈夫と思えた。

函師氏の願いは「植樹をしたら、5年間は手入れに来て欲しい」とのこと。

それを実践している山の会もあった。

☆懇親会は二日市浜太郎にて 13 名の参加で盛会に終えることが出来た。

## 運営委員会の動き

開催月日	議 題	場 所
7/24(火)	*6/16(日)H24 年度総会・講演会報告 *7/22 宝満山山開きマナー袋配布実施報告 *「山のトイレ通信第 9 号」発行について *英彦山トイレ建設に関する状況報告 *5/26 英彦山山開き啓蒙活動実施報告 *事務局体制について *会員動向報告	さざんびあ博多
8/28(火)	*7/29(日)井原山登山口啓蒙活動実施報告 *10/21(日)古処山清掃ハイク&環境視察&懇親会 について *「山のトイレ通信第 9 号」発行詳細について *会員動向報告	さざんびあ博多



## 英彦山上部にトイレ建設を求める動き(part II)

バイオトイレで最も大切なことは、きれいで臭いのないトイレであることが重要で、快適に登山者がトイレを利用することにある。

従って、長期にわたってトイレの定期点検、清掃等の管理が大切になる。

きちんとした管理体制が整うことが、トイレ建設する福岡県、維持管理をする添田町、土地を所有する英彦山神宮、この三者がトイレ建設を行う上での条件としたもので、当条件の確定なしにはトイレ建設に向けた進展はなかったのではないかとと言える。

「英彦山の環境トイレを考える連絡協議会」におけるこれまでの意見交換会には地元をはじめ、多数の団体参加があり、これら団体へ先に述べたトイレ管理に関する協力を求めたところ、8団体（筑豊山の会、英彦山観光協会、県立英彦山青年の家、添田町観光ボランティア、日本山岳会北九州支部、田川かたつむり山の会、日本野鳥の会、つくし植物友の会）と2名の個人より申し出があり、点検、清掃等トイレ管理協力団体、個人として登録された。

特に、会事務所を英彦山地区へ移転したいとする筑豊山の会を、トイレ完成後の管理主体団体にして、管理を行っていくことになり、今後もさらに協力団体を募り、強化していくこととしている。

トイレ管理を行う協力団体名、個人名等と管理費用予算(案)を添田町へ提出、英彦山神宮へはトイレ管理協力団体名等を提出した。

一方、福岡県の動向を把握するため、7月に県の自然公園係担当者へ電話にて話を聞いた内容は下記の通り。

添田町からトイレ完成後の管理に関する『連絡協議会』の動き、管理体制などについても連絡を受けており了解している。また、今後の行動として、トイレを建設する場所、日照問題(ソーラーパネルによる発電量)も含め、バイオトイレ業者と共に場所を選定するための調査を行う。

その後、県、町、当会を交え、トイレの機種、建設場所等について協議する場を持ちたい。日程などについては現時点では明言できない。

添田町よりトイレ建設場所について「連絡協議会」としての希望地を示すよう要望があり、「場所は中岳山頂北側広場付近が登山者が集中、さらに昼食、休憩地となっており、最も適切な所である」と提言し、県にも同主旨のことを伝えた。

このトイレ建設に向けた取り組みは徐々にではあったが、着実に進展してきた趣はある。しかし、解決しなければならぬ課題も残されており、いまだ少し頑張らなければと考えているところである。

(報告 太田)



## 啓蒙活動報告

実施日:5月20日(日)

午前8時30分～午後3時30分

実施場所: 宝満山登山道

目的: 清掃登山

コース: 正面登山道・女道

参加者: 会員4名 会員外2名

太田 松大路 有沢 酒勾(会員外)

加藤(会員外) 高松

回収ゴミ量 可燃物1kg 不燃物1.4kg

ゴミは昨秋の時と比べると、使用済みティッシュが多く見られ、その理由としては5月連休後であることが考えられる。今後は登山者が多い時期に登山口でマナー袋の配布など啓蒙活動を行っていくのもいいのではないかと思った。

(報告:高松)

### ～清掃登山参加記～

5月20日(日) 曇り 今日清掃登山の日だったと、集合場所・時間も確かめず、8時に家を出た。我が家は市役所の近くで竈門神社までバスで10分、歩いて1時間足らず。9時頃竈門神社着、山の図書館にも寄ったが誰も居らず後を追った。途中山を下りてくる幾人かに、清掃しながら登る一団の居場所を尋ね、段々近づいているのが分かった。三合目、休堂跡の水場で先を行く5人に合流。正面登山道を6人で前後しながら、登山道はもちろん両側の藪、林の中を覗きながら3時間かけてキャンプ場まで登った。登山道では落としたのか捨てたのか飴の包み紙が目立った。また、道を離れた藪では菓子の袋、ビニール袋、ティッシュ、缶等が見られた。これらゴミは見えないからと捨てたか放置したかと思われるが自然を汚し、見て不愉快のものである。すべての登山者が「ゴミを捨てない、持ち帰る」を心がけ、山の自然を守って欲

しいと思った。

昼食をする頃キャンプ場には清掃登山を主催する勤労者山岳連盟所属の12の山岳会がそれぞれのルートから膨らんだレジ袋を手に集まってきた。参加者の数は150名近く。全員集合した頃「山からゴミをなくし、素晴らしい自然を守ろう」と2012年清掃登山・グリーンハイクアップが行われ、次いでそれぞれの会の自己紹介が行われた。私達の会では太田さんと高松さんが紹介と発言を行った。キャンプ場での集会が終わった後下山。3時半頃集めたゴミを指定された内山公民館の前に置いて清掃登山を終了。ゴミの量は燃えるゴミ1kg、不燃ごみ1.4kgで、登山者が多い割に少ない印象を受けました。(寄稿 酒勾輝昌氏)

宝満山山城の総ゴミ量は？

可燃物 85kg

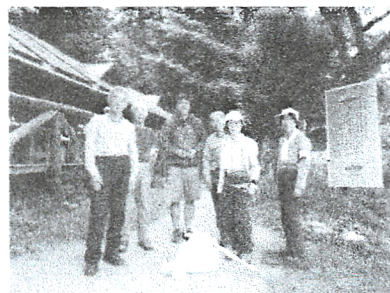
不燃物 48kg

参加人数は？

196名

～お疲れさまでした～

～収穫ゴミを前に 清掃請負人達～



～トイレの説明をする豊福会長～





実施日: 5月26日(土)

午前9時～午後3時

実施場所: 英彦山各登山道コースおよび山頂

目的: 清掃登山

コース: A. 別所駐車場～奉幣殿～正面登山道～山頂  
B. 豊前坊～北岳～中岳  
C. 鬼杉～南岳～中岳

参加人数: 日本山岳会北九州支部会員  
22名

回収ゴミの数 燃えるゴミ 13袋  
(添田町役場指定袋)  
燃えないゴミ28袋  
( 同 )  
合計 41袋

山頂展望台正面下には過去のゴミが堆積しており、今回だけでも1升瓶が10数本、その他ビール瓶、ウィスキー瓶、古い空き缶など多数回収したが、個人の運搬重量に限度があるため今回はこれで打ち切り。山頂の周囲は相当量の燃えないゴミがあり、今後は町を挙げて取り組む必要があると思われる。

実施日: 5月27日(日)

午前9時～午後1時

実施場所: 英彦山正面登山道～中岳山頂(山開き神事会場)

目的: 英彦山山開き参加登山者への呼びかけ

参加人数: 日本山岳会北九州支部会員  
18名

配布資料数は各250枚、内容は下記の通り。

- 1) 英彦山上部にトイレ建設を要望する請願(陳情)書の写し
- 2) 山のトイレ、環境を考える福岡協議会のパンフレット
- 3) 山のトイレマナー袋
- 4) 「山の日」制定協議会のパンフレット

実施日: 7月22日(日)

午前8時～午後2時

実施場所: 宝満山山頂 山開き神事

目的: 宝満山山開き参加者への呼びかけ

参加人数: 8名、2団体

太田 中馬 高井 高松  
以下一般参加 酒勾 福岡  
井上 高橋

日本山岳会 西鉄山友会  
マナー袋配布枚数: 100枚

8時に竈門神社へ集合し、山の図書館でマナー袋を手分けして持つ。くもり空の中、7名で出発する。

10時30分過ぎ山頂に到着。神事の前に登山者へマナー袋を手渡す。

昨年より受け取る人たちの反応が良いように感じた。

11時より竈門神社禰宜松大路氏の祈願が始まり、当会も太田氏が代表して玉串を奉納する。途中雨がぱらつきだしたが、たいした降りにならず無事神事の行事が終了。西鉄山友会さんより記念のタオルが配られた。

前日の大雨のせいか、昨年よりも参加が少なく100名程か。残ったマナー袋はキャンプ場のトイレに置いてもらうことにする。

キャンプ場へ移動し、中馬氏、酒勾氏に出会った。昼食をとり2時過ぎに駐車場にて解散をする。

『山がきれいになりますように...』



～笑顔で受取る山ガール～





実施日: 7月29日(日)

9時30分～12時30分

実施場所: 井原山水無鍾乳洞登山口

目的: オオキツネノカミソリ鑑賞者・  
登山者への呼びかけ及びト  
イレ清掃点検

参加人数: 13名

太田 因幡 温品 高井  
河内山 高松 以下一般  
桑原 大坂 峯 山下 小  
野 井上 鈴木

マナー袋配布枚数 200枚

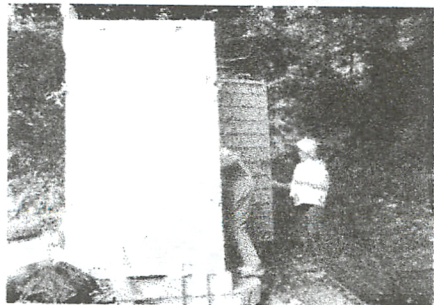
水無鍾乳洞登山口手前よりもう車でい  
っぱい。沢山の人達で駐車場は混雑。  
手分けしてトイレマナー袋を配布。  
配布する時に使用済みトイレティッシュペ  
ーパー、ゴミの持ち帰りなどを説明し、  
手渡す。以前のように受け取る人の反応  
が「これ何?」ということではなく、環境  
を守ろうということに、私達の小さな活  
動でも少しづつ浸透してきたのかなと  
思われます。

簡易トイレの清掃、周囲の草刈りを行い、  
タンクへの給水作業、川からビニール袋  
に水を入れ、リレー式で運び入れる。駐  
車場のゴミ拾い、登山路のゴミ拾いを行  
い、登山者がひと区切りしたところで、  
女性だけでオオキツネカミソリ鑑賞散策  
をする。

冷んやりした山の風、水、花に癒され、人  
との出会いに感動した一日でした。

(報告 高井カホル)

☆トイレ掃除をするメンバー☆



☆一仕事終わった後のご褒美散策☆



～今、この会は下記の個人・団体  
によって支えられています～

<団体会員>

RKAC アイテックシステム(株)  
あだると山の会 九州高地植物  
保護協会 九州登山情報センター  
田川かたつむり山の会 筑豊山  
の会 西鉄山友会 日本山岳会福  
岡支部 日本山岳会北九州支部  
福岡県山岳連盟 宝満宮竈門神  
社 福岡県勤労者山岳連盟(株)  
湊工業 山の自然に学ぶ会  
(15団体)

<個人会員>

会員数 69名 \*個人情報に関  
係で氏名公表は差し控えました。

<協賛先>

太宰府天満宮 宝満宮竈門神社  
(株)西鉄グリーン土木  
(株)ムッシュ(マナー袋寄贈)



## 北海道「山のトイレを考える会」ニュース

### 第 13 回フォーラムの開催(3・10)

第 13 回山のトイレフォーラムが札幌市エルプラザで開催され、38 名の参加者を迎えて行われました。

テーマは「北海道の山トイレ 今私達にできること」です。

今回は主に次の課題についてディスカッションしました。

- (1)黒岳バイオトイレ問題
- (2)幌尻山荘のトイレ問題
- (3)羅臼岳のトイレ問題
- (4)夕張岳ヒュッテトイレ状況
- (5)羊蹄山避難小屋建て替えに伴うトイレについて
- (6)空沼岳万計山荘のトイレ状況

黒岳バイオトイレは設計値をはるかに超える利用者でバイオが正常に働かず、オガクズ交換を年 5 回ほど余儀なくされています。費用面も含めて抜本的な改善策は見つからず、関係者は頭を悩ませています。

幌尻山荘バイオトイレは水力発電機を修理したこと、天候が悪かったこと、シャトルバスでの入山となったことから登山者が少なく比較的順調に稼働。しかし1基しかないために山荘内の貯留式トイレ、外の仮設トイレは必要で、排泄物の担ぎおろしは続けなければなりません。故障の多い外国製水力発電機は日本製に切り替える予定であるとの報告でした。

知床の羅臼岳は 2008 年から携帯トイレ普及活動を開始、回収ボックスの整備、購入箇所を増やす等、普及に向けた環境整備を実施してきました。今年は岩尾別コースの銀嶺水に固定式携帯トイレブースが設置される予定です。

羊蹄山避難小屋は今年建て替えられ、それに伴うトイレは土壌処理方式のバイオトイレが導入されるとのことでした。

(2012. 7. 12発行 ニュースレターより転載)



上記の「山のトイレを考える会」は 2007 年に我が会のスタートと言える大宰府で開催した「トイレフォーラム」に基調講演をして下さいました。広い北海道を相手に頑張られている様子に私たちも励みになります。

皆さん！ 北海道登山する時は  
携帯トイレお忘れなく

## 山のトイレマナーと環境にやさしい登山を

- ・山に入る前には麓のトイレで用を足しましょう
- ・山中では設置のトイレで用を足しましょう
- ・トイレにゴミは捨てないようにしましょう
- ・公衆トイレがない山では携帯トイレを使いましょう
- ・やむを得ず山中(トイレ以外)で排泄する時は穴を掘って埋めるなどの処理をしましょう
- ・使用済みのペーパーは必ず持ち帰りましょう
- ・花を手折ったり、盗掘はやめましょう
- ・登山時のゴミは持ち帰りましょう



### 会費未納の方へお願い!

払込書を同封しています。今年度もご協力よろしくお願い致します

会計より



### 編集後記

7月に襲った九州北部の豪雨は戦後2番目の被害額であったとか。登山道の崩壊もあちこちで聞く。宝満山の登山道は有志の方達により、酷暑の中でも補修がなされている。有難いことである。被災された方の早い復興を願うばかりである。

山のトイレ協議会通信 第9号

発行日 2012年9月6日

山のトイレ、環境を考える福岡協議会

〒818-0115

太宰府市内山708番地

九州登山情報センター内

☎&FAX 092-928-2729